

## JISA「生成 AI 技術の社会的活用にかかる提言」発表 記者会見 開催

令和 6 年 10 月 31 日、報道記者及びマスコミ関係者を対象とした“JISA「生成 AI 技術の社会的活用にかかる提言」発表 記者会見”が JISA 会議室及び Zoom によるテレカンファレンスにて開催された。JISA からは福永会長、富川政策提言委員会内部連携部会長、宮本副会長・専務理事が出席し、報道関係者はオンライン参加を含めて 11 名が参加した。

冒頭、福永会長から「本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。生成 AI には日本のデジタル化の遅れを取り戻し、さらには他国をリードするゲームチェンジャーとしての役割を期待しています。本提言の取りまとめにあたっては、情報サービス産業に限らず、社会全体を俯瞰する立場から、情報サービス産業が生成 AI の広範な社会的実装を担うことにより、あらゆる産業、社会領域での生成 AI の利活用を促進し、日本社会・経済の発展に主体的・能動的に貢献することを念頭において、検討を行ってまいりました。」と挨拶があり、続いて提言の概要について説明があった。

その後、質疑応答が行われ、「提言において最も重要視すること」「資格制度の見直しの展望」「外部データの利活用」「法整備の方向性」「生成 AI の利活用における個人情報の保護」等について質問が挙がった。

※プレスリリース「『生成 AI 技術の社会的活用にかかる提言』の発表について」

[https://www.jisa.or.jp/public\\_info/press/tabid/3852/Default.aspx](https://www.jisa.or.jp/public_info/press/tabid/3852/Default.aspx)

(高野)